

2025年度のALPS処理水の海洋放出は、全7回を計画しており、安全・着実に進めてまいります。

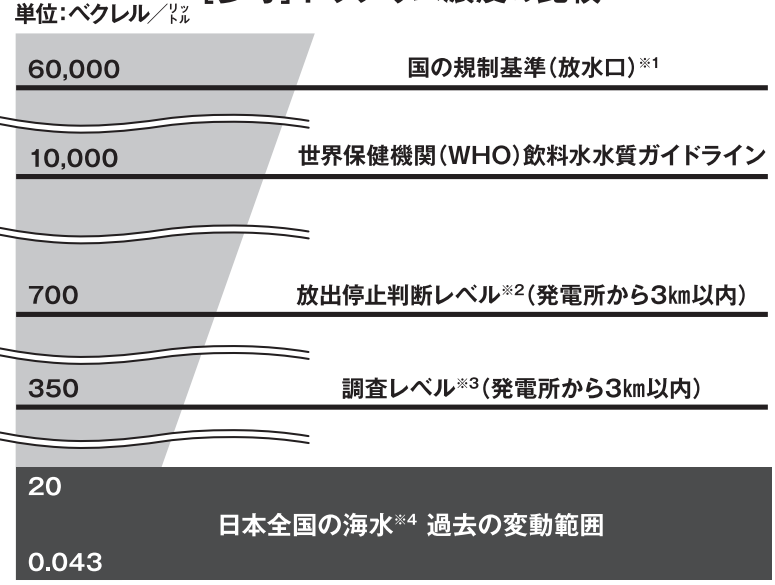
- ▶ 2024年度の海洋放出は、計画どおり(全7回)、安全に実施しました。
- ▶ 2025年度は、放出回数:全7回、放出水量:約54,600m³、トリチウム放出量:約15兆ベクレルを計画しています。

年度	回数	処理水の 放出量	トリチウム総量 〔年間放出基準: 22兆ベクレル〕	トリチウム以外の 放射性物質の濃度	希釈後のトリチウム濃度*2 〔政府の基本方針で示された 海洋放出のトリチウム濃度の上限: 1,500ベクレル/リットル未満*3〕	海水のトリチウムのモニタリング結果 〔迅速測定*1〕		
						発電所から 3km以内	発電所正面から 10km四方	
2025 計画	7回	約54,600m ³	約15兆 ベクレル	最新の状況は「処理水ポータルサイト」でご覧いただけます https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/				
2024 実績	7回	54,999m ³	約12.7兆 ベクレル	告示濃度比総和*4 0.076~0.31	規制基準 < 1	最大436 ベクレル/リットル	最大56 ベクレル/リットル	検出せず

*1. トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定
*2. 海水配管にて採取した試料のトリチウム濃度(「不確かさ(分析データの精度)」を考慮した値)
*3. 国の規制基準の1/40、世界保健機関(WHO)飲料水水質ガイドラインの約1/7
*4. 各核種の濃度の法令上の限度に対する比を求め、それを合計したもの

● ALPS処理水の海洋放出は、引き続き、安全性を確保しながら、計画的に進めてまいります。
また、その情報を正確かつわかりやすい形で国内外に発信してまいります。

[参考]トリチウム濃度の比較



※1. 70年間、原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合に一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた国の規制基準
※2. 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標
※3. 「放出停止判断レベル」に達する前の段階において必要な対応を取る指標
※4. 出典「日本の環境放射能と放射線」(期間:2019/4~2022/3)



ALPS処理水海洋放出の状況についてはこちらをご覧ください
▶[放出実績]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/performance_of_discharges/



各機関が公開した海域モニタリングのデータはこちらをご覧ください
▶[包括的・海域モニタリング閲覧システム(ORBS)]
<https://www.monitororbs.jp/ja/index.html>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22